

第5学年 国語科学習指導案

| | | |
|-----|----------------|---------|
| 日 時 | 平成20年10月15日(水) | |
| 学 級 | 5年1組26名 | 5年2組25名 |
| 授業者 | 千田 雅子 | 石亀 雅哉 |

- 1 単元名 人物の考え方や生き方をとらえよう
教材名 「わらぐつの中の神様」(光村図書 5年下)
「春先のひょう」(東京書籍 平成元年版)

2 単元について

(1) 児童について

児童は、これまでに物語文教材「新しい友達」の学習を通して、友達との心の距離を測りかねて揺れ動く少女の心情の変化を、行動や様子、会話をもとに叙述に即して読み取ってきた。その際、心情が分かることばや文を心情曲線に表したり、心情がよく伝わる部分に書き込みをしたりすることで深く読み取る活動を行ってきた。この活動で、1つ1つの表現に気をつけながら丁寧に読み進めることができるようになってきた。また、これまでの学習の積み重ねにより、あらすじや物語の山場、説明文であれば要点などを、短時間で大きく読み取ることもできるようになってきている。その反面、細かい内容の読み取りとなると叙述から離れてしまい、不確かな読み取りを行う児童もいるなど不十分な面がまだ見られる。また、自分の考えを口頭で発表することはできるが、うまく文章にまとめられず書くことに抵抗を示す児童もいる。そこで、本単元では行動や様子、会話などの叙述にしっかり着目させて、それらに即した読み取りを行わせ、自分の考えを丁寧に書き表すための指導を取り入れていきたい。

読書については、日常的に読んでいる児童は少なく、朝読書や活動の待ち時間を中心に読むことが多い。ただ、全体的な傾向としては、読書に関心をもっており、夢中になって読んでいる姿が見られる。しかし、同じ種類やジャンルの本だけを読んでいることも多く、読書の内容が広がらない児童もいる。友達同士で本を紹介し合う活動を取り入れることで、幅広いジャンルの本に親しませたい。

(2) 教材について

第5・6学年における読むことの目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。本単元に関わっての読むことの重点は、「ウ 登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むこと。」である。

本教材「わらぐつの中の神様」は、わらぐつや神様に対して、「みったぐない。」「迷信でしょ。」と言っていたマサエが、おばあちゃんの話聞いて「雪げたの中にも、神様がいるかもしれない。」という気持ちに変わっていく物語である。これは、おみつさんのわらぐつを編む態度や大工さんのものの見方や考え方から、マサエが本当の神様の意味を受け止めたからである。作品を読み取る中で、人の身になって尽くす心を大切に生きていくことが尊いのであり、人間にとって幸せだということに気づかせる教材である。また、現在―過去―現在と時間の行き来がある作品構成のおもしろさ、最後におみつさんがおばあちゃんと分かる謎解きのような手法は、児童の興味を引きつける魅力も持っている。

副教材「春先のひょう」は、戦争末期の病院で看護婦として働く主人公と患者の心の通い合いを、お母さんが子ども達に語る物語である。看護婦としての使命を果たそうと患者のために懸命に尽くす姿や温かで誠実な人柄は、「わらぐつの中の神様」の主人公と共通する。他にも、現在―過去―現在という文章構成や最後に看護婦がお母さんと分かる手法も共通している。このことから、「わらぐつの中の神様」で学んだ力を生かし、人物の生き方や考え方を主体的にとらえさせるのに適した教材と思われる。

(3) 指導について

本単元の指導にあたっては、各段階において以下の点に留意して指導していきたい。

「とらえる」段階では、まず人物の人柄から考え方や生き方を読み取っていくことを意識させ、単元の見通しをもたせる。そして、全文を読んだ後、初発の感想を書かせる。

「ふかめる」段階では、まず設定表を使って物語の大体をつかめるようにする。その際、中心人物と主な出来事を取り上げて、あらすじをとらえさせたい。内容の読み取りでは、行動や様子、会話に着目させながら、おみつさんと大工さんの人柄について考えていく。その後、二人の人柄を類比させ、仕事に対する姿勢や態度から共通している考え方を読み取らせたい。次に、現在の場面を基にマサエの心情の変化を読み取っていく。ここでは、対比を用いて場面の前後を比べていく。その中で、マサエの心情が変化したのは神様の本当の意味を受け止めたこと、つまり人の身になって尽くすということの大切さに気づいたということ、児童に読み取らせたい。また、作品の構成についても対比を使って考えさせたい。現在一過去一現在の構成の効果や種明かしの手法に客観的に迫ることで、内容の読み取りとは別な角度から作品のおもしろさを感じられるようにする。最後に、主教材「わらぐつの中の神様」で学んだ力を定着させるため、副教材「春先のひょう」の読み取りを行う。ここでは、お母さんの行動や様子、会話から人柄を読み取り、仕事に対する考え方を考えさせていきたい。

「ひろめる」段階では、自分の選んだ本に登場する人物の考え方や人柄、文章構成の仕方などを紹介するカードを作る。カードを作る活動や内容の発表を通して、いっそう読書への関心も高まると考えている。

3 単元の目標

(1) 主目標

◎行動描写・会話などから人物像を読み取る方法を知って読み、人物の考え方・生き方について自分なりの感想をもつことができる。

(2) 観点別目標

- ・国語への関心・意欲・態度……物語の温かさに引かれて、心に残る言葉や文章、情景や場面を楽しんで読もうとする。
- ・読む能力……登場人物の人柄や場面の様子、情景を叙述に即して読むことができる。(ウ)
- ・言語についての知識・理解・技能……読み手を引きつけるための物語の展開の工夫(現在一過去一現在)に気づくことができる。(オ(ア))

(3) 単元の評価規準

| 国語への関心・意欲・態度 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 |
|---|----------------------------------|----------------------------------|
| 物語の温かさに引かれて、心に残る言葉や文章、情景や場面を楽しんで読もうとしている。 | 登場人物の人柄や場面の情景を叙述に即し、味わいながら読んでいる。 | 現在一過去一現在という物語の構成とその効果について理解している。 |

4 指導計画（9時間）及び観点別評価規準

| 次 | 時 | 目 標 | 学習活動 | 身に付けさせたい力 | 読みのスキル | 評価規準 (評価方法) |
|-----------------------|------------------------------------|--|--|--------------------|---|--|
| 一 と ら え る | 1 | 心に残ったことや考えてみたいこと等感想をもつことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 教材文を読む。 初発の感想を書く。 | 感想をもつ力 | | 関 心に残った言葉に関わって感想を書こうとしている。(ノート・発言) |
| | 2 | 学習計画を立てることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習計画を立てる。 音読練習をする | 学習の見通しをもつ力 | 音読 | 関 初発の感想を基に学習課題を考えている。(ノート・発言) |
| 二 ふ か め る | 3 | 場面ごとに設定をとらえ、あらすじをつかむことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 設定表を基にあらすじをとらえる。 一の場面でのマサエとおばあちゃんの神様に対する考え方の違いを読み取る。 | 内容の大体をとらえる力 | 場面分け設定 | 読 場面ごとの、設定の叙述に即してあらすじをまとめている。(設定表) |
| | 4 | おみつさんの雪げたやわらぐつに対する思いから、おみつさんの人柄を読み取ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> おみつさんの雪げたに対する思いやわらぐつに込めた思いから人柄を読み取る おみつさんの仕事に対する考え方を読み取る。 | 叙述を基に登場人物の人柄をとらえる力 | 人柄 色彩語 | 読 わらぐつの様子やおみつさんの行動、思いを叙述に即して読み取っている。おみつさんの人柄を考え、まとめている。(ノート・発言・サイドライン) |
| | 5 本 時 (2 組) | 次々とわらぐつを買う大工さんの人柄を読み取ることができる。おみつさんと共通する考え方について読み取ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 次々とわらぐつを買う大工さんの行動から人柄を読み取る。 おみつさんとの仕事に対する考え方の共通点について考える。 | 叙述を基に登場人物の人柄をとらえる力 | 人柄 類比 | 読 大工さんの行動、思いを叙述に即して読み取り、人柄を考えまとめている。おみつさんと共通する考え方についてまとめている。(ノート・発言・サイドライン) |
| | 6 本 時 (1 組) | おばあちゃんの話聞いたマサエの心情の変化を読み取ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> マサエの神様に対する心情がどう変化したかを読み取る。 マサエのわらぐつに対する心情がどう変化したか読み取る。 | 中心人物の変容をとらえる力 | 対比 | 読 マサエの神様やわらぐつに対する心情がどう変化したか読み取っている。(ノート・発言・サイドライン) |
| | 7 | 作品の構成の効果について考えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 現在一過去一現在という構成の効果を考える。 心に残った言葉や表現を書き出し、発表する。 | 優れた叙述を味わいながら読む力 | 対比 | 言 現在一過去一現在という構成の効果を理解している。(ノート・発言) |
| 8 | 副教材「春先のひょう」を読み、お母さんの人柄を読み取ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> お母さんの仕事に対する考え方を読み取る。 お母さんの人柄を考える。 | 学習したことを生かして読む力 | 人柄 | 関 学習したことを生かし、進んで読み取ろうとしている。 読 登場人物の思いを叙述に即して読み取り、人柄を考え、まとめている。(学習シート・発言) | |

| | | | | | | |
|-----------------------|---|---|------------------------------------|---------------|----|---|
| 三 ひ ろ め る | 9 | 自分の選んだ本に登場する人物の考え方や人柄を紹介するカードを作ることができる。 | ・自分の選んだ本に登場する人物の考え方や人柄を紹介するカードを作る。 | 読み取ったことを表現する力 | 人柄 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 関 </div> 学習したことを生かし、進んで紹介カードを作ろうとしている。 (作品・態度) |
|-----------------------|---|---|------------------------------------|---------------|----|---|

5 本時の指導（5年2組 5／9時間 授業者 石亀雅哉）

(1) 目標

わらぐつを何度も買いに来る大工さんの様子から人柄を読み取ることができる。
大工さんとおみつさんの仕事に対する考え方を読み取ることができる。

(2) 具体の評価規準と手立て

| A：十分満足 | B：おおむね満足 | 努力を要する児童への支援 |
|---|--|-----------------------------------|
| 大工さんの行動や会話から、仕事に対する考え方をとらえ、大工さんの人柄を読み取っている。 大工さんとおみつさんの共通している考え方を、自分の言葉で書いている。 | 大工さんの行動や会話から、大工さんの人柄を読み取っている。 大工さんとおみつさんの共通している考え方を書いている。 | 大工さんの仕事に対する考え方や人柄が分かることを示して考えさせる。 |

具体例A：

大工さんは（ものの価値がきちんと分かる）人
仕事に対して、（見た目や外見ではなく使う人の身になって作るのが、ほんとのいい仕事だ）と考えている。

(3) 指導にあたって

本時は、わらぐつを買いに来る大工さんの様子から人柄を読み取る場面である。前時まで、おみつさんの人柄を読み取っており、授業の後半では大工さんとおみつさんの人柄を比べ、共通している考え方をとらえさせたい。

そこで、読み取りにあたっては次の点に留意していきたい。

- ①大工さんの行動や会話に着目させ、人柄について考える。
- ②おみつさんのわらぐつを「わらまんじゅう」だと言った人と大工さんを対比させて、大工さんの人柄について考えを深める。
- ③大工さんとおみつさんの仕事に対する考え方を押さえ、二人の接点について考える。

(4) 展開

| 段階 | 学習内容・学習活動 (○主発問) | 教師の支援 (●支援を要する児童への手立て) | 備考 (◎評価規準・準備等) |
|------------|---|---|-------------------|
| とらえる 3分 | 1 前時の学習を想起する。 2 学習課題を確認する。 わらぐつを何度も買いに来る大工さんの人柄を読み取ろう。 | ・おみつさんの人柄をふり返らせる。 | ・教室掲示 |
| | 3 学習の見通しをもつ。 ・本時のスキル(人柄・対比・類比)を確認し、学習の流れを知る。 4 学習課題の解決を図る。 (1) 自力解決する。 ・音読する。 ・大工さんの行動や会話にサイドラインを引く。 ・サイドラインを引いたところ | ・本時の場面で扱うスキルと、大工さんの行動や会話に着目して読み取っていくことを確認する。 ・大工さんの性格や人の良さが分かるようなところに引かせる。 | |

| | | | |
|-------------------------------------|--|--|---|
| <p>ふ</p> <p>か</p> <p>め</p> <p>る</p> | <p>を確認する。</p> <p>○どこにサイドラインを引きましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いい仕事ってのは、見かけで決まるものじゃない。 ・使う人の身になって、使いやすく、じょうぶで長もちするように作るのがほんとのいい仕事ってものだ。 ・大工さんの人柄を考え、書き込みをする。 <p>(2) 確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大工さんの人柄について話し合う。 <p>○大工さんは、どんな人だと考えましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当の仕事の意味が分かっている。 ・使う人のことをよく考えられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・大工さんとおみつさんの仕事に対する考え方を読み取る。 <p>○大工さんは仕事に対してどう考えていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いい仕事は見かけで決まらない。 ・使う人の身になって、使いやすく、じょうぶで長もちするように作るのが、ほんとのいい仕事。 <p>○大工さんとおみつさんの考え方を比べて、気づいたことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見かけや格好よりも大事なことを分かっている。 ・二人とも履く人や使うのことを考えている。 <p>5 学習課題についてまとめる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●大工さんの人柄の分かるところを示しながら考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・わらまんじゅうだと言った人と大工さんを対比させて、大工さんの考え方を読み取らせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・前時に読み取ったおみつさんの仕事に対する考え方をふり返らせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・二人の考え方を類比させ、共通しているところや二人の接点を読み取らせる。 | <p>◎大工さんの人柄について考えている。(ノート)</p> |
| <p>37分</p> | <p>大工さんは(ものの価値がきちんと分かる)人仕事に対して(大事なものは見かけや外見ではなく使う人の身になって心を込めて作るのが本当のいい仕事だ)と考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人柄の紹介プリントに記入する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・大工さんの人柄と使う人の身になって作るという考え方は全員に押さえさせる。 | <p>◎大工さんの人柄を読み取っている。</p> <p>◎大工さんとおみつさんの仕事に対する考え方を読み取っている。(プリント・発言)</p> |
| <p>まとめ</p> | <p>6 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 本時の学習をふり返る。</p> <p>(2) 自己評価、相互評価をする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・内容が理解できたか。 ・進んで挙手できたか。 ・よい意見を発表していた友達。 ・授業を通して分かったこと。 | |
| <p>5分</p> | <p>7 次時の学習を確かめる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・マサエの心情の変化を読み取ることを伝える。 | |

わらぐつの中の神様

わらぐつを何度も買いに来る大工さんの人柄を
読み取ろう。

スキル 人柄・対比・類比

たてにしたり横にしたりして、しばらくながめて

・しつかり物を見ようと

見かけで決まるもんじゃない ⇕ わらまんじゅう

・中身を大事に

・外見で判断

少しくらい格好悪くても

使う人の身になって、使いやすく、じょうぶで長もち
するように

・使う人のことを考えて

・自分の考えを持っている

はく人がはきやすいように、あつたかいように、少し
でも長もちするように

いい大工になりたい

・将来の目標がある

○見かけや格好よりも大事なことを分かっている。

○二人とも履く人や使う人のことを考えている。

大工さんは（ものの価値がきちんと分かる）人
仕事に対して、（見かけや外見ではなく使う人の身
になって作るのが本当のいい仕事だ）と考えている。

6 本時の指導（5年1組 6／9時間 授業者 千田雅子）

(1) 目標

おばあちゃんの話聞いたマサエの心情の変化を読み取ることができる。

(2) 具体の評価規準と手立て

| A：十分満足 | B：おおむね満足 | 努力を要する児童への支援 |
|--|--|---|
| マサエの心情の変化を一の場面と三の場面对比させながら読み取り、神様やわらぐつに対してのマサエの心情の変化について自分の考えを深めながら具体的にまとめている。 | マサエの心情の変化を一の場面と三の場面对比させながら読み取り、雪げたに神様がいると信じるようになったマサエの心情の変化についてまとめている。 | おばあちゃんの話聞く前と後のマサエの行動や会話に着目させ、話を聞いた後の心情の変化を具体的にとらえさせる。 |

具体例：A

マサエは、おばあちゃんの話聞くことによって、見かけより心がこもっているものの方が大事であり、雪げたはおじいちゃんとおばあちゃんの心がこもっているし、わらぐつには作った人の心がこもっているから、神様がいるかもしれないという心情になった。

(3) 指導にあたって

本時は、わらぐつや神様に対して「みったぐない。」「そんなの迷信でしょ。」といていたマサエが、おばあちゃんの話聞いたことによって、「神様がいるかもしれないね。」という心情に変化する場面である。おみつさんや大工さんの「心のこもったものこそ大切な価値がある」という考え方をマサエが受け止めたことを、叙述に即して読み取らせる。

次の点に留意し、指導にあたりたい。

- ①一の場面と三の場面のマサエの心情を対比させ、変化を読み取る。
- ②雪げたに込められたおじいちゃんとおばあちゃんの心を、叙述に即して読み取る。
- ③前時で学習した大工さんとおみつさんの仕事に対する考え方を踏まえて、わらぐつに対するマサエの心情の変化を考えさせる。

(4) 展開

| 段階 | 学習内容・学習活動 (○主発問) | 教師の支援 (●支援を要する児童への手立て) | 備考 (◎評価規準・準備等) |
|------|--|---|--|
| とらえる | 1 前時の学習を想起する。 2 学習課題を確認する。 | | |
| 3分 | おばあちゃんの話聞いた後の、マサエの心情の変化を読み取ろう。 | | |
| ふかめる | 3 学習の見通しをもつ。 (1) 本時のスキル(対比)を確認し、学習の流れを知る。 ・一の場面と三の場面の神様に対するマサエの心情の変化を設定表で確認する。 4 学習課題の解決を図る。 (1) 神様に対するマサエの心情の変化を読み取る。 ・音読する。(三の場面) ○マサエが雪げたの中に神様が居るかもしれないと思ったのはなぜでしょう。 ・サイドライン ・書き込み ・発表 ・だけど、おじいちゃんがおばあちゃんのために・・・のところ。おじいちゃん | ・本時の場面で扱うスキルと、一と三の場面对比させて読んでいくことを確認する。 ・神様が居るかもしれないという心情になったことを確認する。 ・指名して音読させる。 ●マサエの会話文に着目させる。 ・マサエの心情が分かる文章にサイドラインを引き、自分の考えを書き込ませる。 ・マサエの言葉を音読させ、口調 | ・紙板書 ・設定表 ◎マサエの神様に対する心情がどう変化したか読み取っている。 (ノート・発言・サイドライン) |

| | | | |
|--------------------------------|---|--|---|
| ふ か め る | <p>がこもっているから神様がいると思うようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんまりうれしくて、もったいなくてね。のところ。うれしくて大事にしまっておいたから おばあちゃんの心もこもっている。 <p>(2) わらぐつに対するマサエの心情の変化を読み取る。</p> <p>○今のマサエはわらぐつに対してどんな心情になったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートに記入 ・発表 ・作った人の心がこもっているから、いいもんだと思っている。 ・心がこもっているものは大事だという心情になった。 <p>5 学習課題についてまとめる。</p> <p>(1) 書きまとめる。</p> <p>(2) 発表する。</p> | <p>の変化からも心情の変化をとらえさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪げたにはおじいちゃんとおばあちゃんの心がこもっていることを叙述から読み取らせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・わらぐつに対する見方を対比させ、心情の変化を読み取らせる。 ●大工さんとおみつさんの話を想起させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・マサエが雪げたに神様がいるかもしれないと思うようになった心情の変化は全員に押さえさせる。 | <p>◎マサエのわらぐつに対する心情がどう変化したか読み取っている。(ノート・発言・サイドライン)</p> <p>◎マサエの神様やわらぐつに対する心情がどう変化したか読み取っている。(ノート・発言)</p> |
| 39 分 | <p>マサエは、おばあちゃんの話聞くことによって、 見かけより心がこもっているものの方が大事であり、雪げたはおじいちゃんとおばあちゃん心がこもっているし、わらぐつには作った人の心がこもっているから、神様がいるかもしれない という心情になった。</p> | | |
| ま と め る 3 分 | <p>6 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 本時の学習をふり返る。</p> <p>(2) 自己評価、相互評価をする。</p> <p>7 次時の学習を確かめる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・内容が理解できたか。 ・進んで挙手できたか。 ・よい意見を発表していた友達。 ・副教材「春先のひょう」を読み、登場人物の人柄を読み取れることを伝える。 | |

(5) 板書計画

わらぐつの中の神様

課題

おばあちゃんの話聞いた後の、マサエの心情の変化を読み取ろう。

読みのスキル



一 「やだあ、わらぐつなんて、みったぐない。」

「わらぐつの中に、神様だって。」

「そんなの迷信でしょ、おばあちゃん。」
信じていない

三 「ふうん。だけど、おじいちゃんが**おばあちゃんのために**、せつせと働いて買ってくれたんだから、この**雪げた**の中にも、神様がいるかもしれないね。」

信じている

雪げた

おばあちゃんのためにせつせと働いて買った
おばあちゃんを喜ばせたい。
おじいちゃんの心がこもっている。

うれしい。もったいない。

大事にしまっている。

おばあちゃんの心

わらぐつ

・見かけより、心がこもっていることが大事
心をこめて作ったものには神様がいる。

まとめ

マサエは、おばあちゃんの話聞くことによって、

見かけより、心がこもっているものの方が大事であり、雪げたにはおじいちゃんとおばあちゃんの心がこもっているし、わらぐつには作った人の心がこもっているから、神様がいるかもしれない
という心情に変化した。

新しい友達

設定表 一

名前 (

)

| 場面 | 時 | 場所 | 登場人物 | できごと | 小見出し |
|-------------|-----------|-------------------|--------------------------|--|---------------------|
| ① | 現在 | | まりちゃん | ロンドンから帰ってきた。 | まりちゃんが帰ってきてうれしいわたし |
| ② ③ ⑧ | 二年前 | 学校 まりちゃんの家 | わたし まりちゃん | まりちゃんのロンドン行きを知ったのは、お別れ会の三日前だった。ランチルームでお別れ会をした。まりちゃんもわたしも泣かなかった。空っぽの家の中から出てきたまりちゃんを見た時、鼻のおくがつうんとした。クロッカスの球根をわたしでさよならした。 | まりちゃんと別れて悲しい気持ちのわたし |
| ⑨ ⑩ ⑪ | 二年前から現在まで | 教室 わたしの家 | わたし | 教室がすうすうするような感じがした。一生けんめいまりちゃんに手紙を書いた。黄色いクロッカスのはち植えを持ったまりちゃんの写真もとどいた。手紙と手紙の間が少しずつ空くようになった。クリスマスカードに「来年の四月に帰るね。」と書いてあった。 | まりちゃんに手紙を書いたわたし |
| ⑫ ⑬ ⑭ | 現在 | わたしの家 | わたし まりちゃん わたしのお母さん | まりちゃんは本当に帰ってきた。まりちゃんを見たときは、とてもびっくりした。本物のまりちゃんに、自然と顔が笑ってしまふ。いつでも会えるさよならだと思つと、さよならがうれしかった。まりちゃんとはまどわないかと急に心配になった。 | まりちゃんが帰ってきてうれしいわたし |

新しい友達

設定表 二

名前 ()

| 場面 | ⑩ 五 月曜日 | 六 日 | 七 |
|---|--|--------------|-------|
| 時 | ある日 | その日 | その夜 |
| 場所 | 帰り道 | わたしの家 | わたしの家 |
| 登場人物 | 坂本君 | わたし まりちゃん | わたし |
| できごと | <p>わたしはきんちようして、転校生のようなだった。休み時間には、女の子全員に囲まれて、イギリスの話をたくさんした。なんか変な気持ちになってしまう。まりちゃんは、もっとはきはきと元気な女の子になっていた。それはすぐうれしいのに、すなおに喜べない自分が少しいやになる。</p> <p>わたしの知っているまりちゃんではないような気がしてしまう。</p> <p>「野中を、新しい野中だと思えばいいんじゃないの。」</p> <p>「えっ。」</p> <p>わたしはびっくりして、坂本君の顔を見た。</p> <p>ほんの少し気持ちは軽くなって、ありがとうって思った。</p> | | |
| 小見出し | <p>まりちゃんが 変わったよ うに感じてさ びしいわたし</p> | | |
| | <p>まりちゃんが遊びに来た。</p> <p>「このクロッカスね、毎年さくよ。とってもいい子なんだ。」</p> <p>「よかった。」</p> <p>「ずっと、なんだかちがうみたいな気がしてたんだもん。」</p> <p>「それ、あたしのほうだよ。」</p> <p>顔を見合わせて、わたしたちは笑った。楽しくて、気持ちがよくて、たまらなかった。</p> <p>「あたしはあたしだし、ひろはひろでしょ。ほかの人にはならないと思うよ。」</p> | | |
| あした が 楽 し み な わ た し | <p>あした が 楽 し み な わ た し だ っ た。</p> <p>二人のまりちゃんがやって来たみたい に 思 え た。</p> | | |

新しい友達

設定表 一

名前 ()

()

| 場面 | 時 | 場所 | 登場人物 | できごと | 小見出し |
|-----|-------------|-------------|-------|--|------|
| ① 一 | 現在 | | まりちゃん | ロンドンから ()。 | |
| 二 | () () () | の 家 () () | | まりちゃんのロンドン行きを知ったのは、お別れ会の () だった。ランチルームでお別れ会をした。まりちゃんもわたしも ()。 () から出てきたまりちゃんを見た時、鼻のおくが () した。 () をわたしてさよならした。 | |
| 三 | 二年前から現在まで | () () () | | 教室が () ような感じがした。一生けんめいまりちゃんに () を書いた。 () のはち植えを持ったまりちゃんの () もどいた。手紙と手紙の間が少しずつ () ようになった。クリスマスカードに「 () () に帰るね。」と書いてあった。 | |
| 四 | () () () | () () () | | まりちゃんは本当に () ()。まりちゃんを見たときは、 () () したけれど、二年ぶりの本物のまりちゃんに、自然と () () しまう。いつでも会える () () だと思うと、さよならが () ()。まりちゃんとはまどわないかと急に () になった。 | |

新しい友達

設定表 二

名前 ()

()

| 場面 | 時 | 場所 | 登場人物 | できごと | 小見出し |
|----|-------------------|-------------------|------|--|------|
| 五 | () () () | () () () | | <p>まりちゃんはきんちようしていて、() のようだった。 休み時間には、()に囲まれて、 イギリスの話をたくさんした。 何か()がしてしまう。 まりちゃんは、もっと() な女の子になっていた。それはすごく() ()のに、すなおに喜べない自分が少 し() ()になる。 わたしの() ()ではない ような気がしてしまう。 「野中を、() ()だと思えばい いんじゃないの。」 「えっ。」 わたしは() ()して、坂本君の 顔を見た。 ほんの少し気持ちは() ()なって、 () ()って思った。</p> | |
| 六 | () () () | () () () | | <p>まりちゃんが遊びに来た。 「この() ()ね、毎年さくよ。 とっても() ()なんだ。」 「よかった。」 「ずっと、なんだか() ()みたいな気 がしてたんだもん。」 「それ、() ()のほうだよ。」 顔を() ()、わたしたちは笑った。 () ()、たまらなか った。 「あたしはあたしだし、ひろはひろでしょ。 () ()にはならないと思うよ。」</p> | |
| 七 | () () () | () () () | | <p>あしたが() ()だった。 () ()がやって来たみた いに思えた。</p> | |

わらぐつの中の神様 設定表 五年 組 ()

| 場面 | 一 | 二 | 三 |
|------|--|--|---|
| 時 | 今 | 昔 | 今 |
| 場所 | マサエの家 | 町の朝市 市の後 家 | 町の朝市 朝市の 日 |
| 登場人物 | マサエ おばあちゃん | おみつさん お父さん お母さん 弟と妹 おみつさん | マサエ おばあちゃん マサエ おみつさん 大工さん |
| できごと | <ul style="list-style-type: none"> ・「やだあ、わらぐつなんて、みったくない。」 ・「わらぐつはいいもんだ。あったかいし、軽いし、すべらんし。それに、わらぐつの中には神様がいなさるでね。」 ・「わらぐつの中に、神様だって。」 ・「そんなの迷信でしょ。」 ・と言う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・野菜を売りに出かけた。 ・雪がたがほしくてたまらなくなる。 ・お父さんとお母さんに、雪がたのことをたのんでみた。 ・相手にしてくれない。 ・言葉をにごしている。 ・「わいわい言い出した。」 ・わらぐつ作りを始めた。 ・心をこめて、しっかりしっかり、わらを編んでいった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・わらぐつを見て、くすくす笑ったり、あきれた顔をしたりする。 ・あけすけなことを言う。 ・なかなか売れないわらぐつを見つめた。 ・「わらぐつを買う。」 ・次々とわらぐつを買ってくれる。 ・「いい仕事するのは、見かけで決まるもんじゃない。」と言う。 ・おみつさんがおばあちゃんだと分かる。 ・雪がたを見せる。 ・「雪がたの中にも神様がいるかもしれないね。」と言う。 ・雪がたをかかえたまま、げんかんへ飛び出していった。 |
| 小見出し | わらぐつの中に神様がいるという話を迷信だと思うマサエ | 雪がたを買うためにわらぐつ作りを始めたおみつさん | 大工さんの話を聞き、たのしくてえらい人だと思うおみつさん |

わらぐつの中の神様 設定表 五年 組 ()

| 場面 | 一 | 二 | 三 |
|------|--|---|--|
| 時 | 今 | 昔 秋の朝 | 今 朝市の日 |
| 場所 | マサエの家 | 町の朝市 市の後 家 | 町の朝市 |
| 登場人物 | () () | () () () () () () | お客さん () () |
| できごと | <ul style="list-style-type: none"> ・「やだあ、わらぐつなんて、()。()。と言う。」 ・「わらぐつはいいもんだ。()、すべらんし。それに、わらぐつの中には()。()。と言う。」 ・「わらぐつの中に() ()だって。」 ・「そんなの() ()でしょ。」と言う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・野菜を売りに出かけた。() ()がほしくてたまらなくなる。 ・()に、雪げたのことをたのんでみた。 ・相手にしてくれない。 ・言葉をにごしている。 ・わいわい言い出した。 ・() ()作りを始めた。 ・() ()、しっかりしっかり、わらを編んでいった。 ・わらぐつを見て、() ()、あきれた顔をしたりする。 ・() ()なことを言う。 ・なかなか売れないわらぐつを見つめた。 ・わらぐつを買う。 ・次々と() ()を買ってくれる。 ・「いい仕事ってのは、() ()じゃない。」と言う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・おみつさんが() ()だと分かる。 ・雪げたを見せる。 ・「雪げたの中にも() ()雪げたの中間にも() ()雪げたを() ()、げんかんへ飛び出していった。 |
| 小見出し | () マサエ () | () おみつさん () | () おみつさん () |